NEWS RELEASE

学校法人東海大学

※当資料は 11 月 14 日（金）、文部科学記者会、科学記者会にて資料配布を行っております。

2025 年 11 月 14 日

報道関係各位

学校法人東海大学

【第 1 報】
業務委託先サーバへの不正アクセスに関するお知らせ

学校法人東海大学（所在地：東京都渋谷区富ヶ谷 2-10-2、理事長：松前 義昭〔まつまえ よしあき〕）では、ネットワークシステムの保守・管理などを委託している株式会社東海ソフト開発（以下、「委託先」）が管理・運用するサーバが、外部からの不正アクセスを受け、ランサムウェアによる被害を受けたことを確認いたしました。

現在、委託先と連携し、被害状況の全容把握および情報流出の可能性について緊急で調査を進めております。現時点では、本法人の学内ネットワークへの直接的な侵入の形跡は確認されておりませんが、委託先サーバに保管されていた本法人関係者の個人情報を含むデータが外部に漏洩した可能性が大きく疑われております。

関係者の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

１．事案の経緯と確認された事実

（１）経緯

日付	時間	概要
11 月 7 日（金）	22：30	委託先サーバにおいて不正アクセスの形跡を確認
11 月 8 日（土）	8：00	委託先にて不正アクセスを確認
	8：30	委託先にて外部ネットワークを遮断
11 月 9 日（日）	10：30	委託先にてランサムウェアグループによる攻撃であることを確認し、神奈川県警に通報
11 月 10 日（月）	11：04	委託先から本法人へ不正アクセスの第一報連絡
	14：00	神奈川県警が委託先に来訪（状況報告、情報保全の対応）
11 月 12 日（水）	9：20	委託先から、攻撃対象のサーバ内に本法人の個人情報ファイル（保護なし）が保存されていたとの報告を受領
11 月 14 日（金）	17：30	本法人より、文部科学省に報告済み
	17：30	本法人より、個人情報保護委員会に報告済み

（２）確認された主な被害内容

・本法人への影響については、委託先にて調査中
・不正アクセスされた委託先端末やサーバは 20～30 台であることが判明
・委託先にてランサムウェアグループによる脅迫文がサーバに保存されていたことを確認

・委託先にてリモートメンテナンス用の入り口から、何らかの方法で窃取した管理者アカウントを用いて進入された可能性があることが判明
・委託先サーバに保管されていたファイルの一部がランサムウェアにより暗号化
・不正アクセスを受けた委託先サーバには、本法人の教職員・学生・保護者のユーザーID、パスワードなどを含む個人情報ファイルが保存されていたことが判明
・本法人が導入している SOC（セキュリティ・オペレーション・センター）監視による事務環境のサーバ等への侵入の形跡は、現時点では確認されていない

２．緊急対応について

事態の重大性に鑑み、本法人では委託先との連携のもと、直ちに以下の緊急対応を実施しております。

・多要素認証のない一部の本法人内サービスについて、外部からのインターネット利用を一時的に停止
・委託先が管理するサーバやネットワーク機器等の管理者パスワードを変更済み
・本法人内の漏洩した可能性のあるネットワーク機器等のユーザー名、パスワードを順次変更予定
・流出の可能性がある本法人の全ての教職員・学生・保護者のパスワードの一括リセットを実施予定

※委託先にて不正アクセスされたネットワークとは別に、新たなネットワーク環境を構築し、被害がなく、安全が確認された機器のみ新たなネットワーク環境に移行

３．今後の対応について

本法人では現在、不正アクセスの原因究明、被害データの特定、および個人情報流出の有無などに関する委託先の調査に全面的に協力しております。調査の進捗状況に進展があった場合、また、新たな事実が判明した場合には適時、当局へ報告するとともに、速やかに公表いたします。

また、委託先に対し、調査結果を踏まえた再発防止策の徹底を求めていくとともに、本法人においても、より一層、業務委託先に対する管理体制の強化に努めてまいります。

以上

＜本件に関するお問い合わせ＞
学校法人東海大学　理事長室政策担当（広報）：小澤、直井、堀内、古山
TEL.03-3467-2211（代表）内線 710-5211